

★タイムテーブル 成蹊大学

★ 9月4日(土)

10:00~10:25 @4号館101

開会式
開会宣言：NPO法人むさしのみたか市民テレビ局
代表 西海真理
共催挨拶：津田正夫(市民メディア全国交流協議会)

10:30~12:00 @4号館101

シンポジウム①
市民テレビが地域にある意味
司会：見城武秀(成蹊大学文学部准教授)
パネリスト：清原慶子(三鷹市長)
邑上守正(武蔵野市長)
福田治樹(JCN武蔵野三鷹社長)
西海真理
(むさしのみたか市民テレビ局代表)
武蔵野・三鷹に「市民テレビ局」があることには、一体どんな意味があるのでしょうか?一方で圧倒的な人的・金銭的資源をもつマスメディア、もう一方で個人単位の活動の気ままだを許すYouTubeやUSTREAMの間に挟まれた「市民テレビ局」の存在意義について、あらためて考えてみたいと思います。

12:45~14:15 @3号館401

「カフェ放送でれれ東京支部」
～マイノリティの側から語る市民メディアの魅力～
「カフェ放送でれれ東京支部」を主催しています。
動機は、薬物依存症からの回復者、セクシュアル・マイノリティである自分自身が、「その存在そのものに救われた感じ」がしたからでした。
それミニ上映会&トークを通し、市民メディアの魅力と可能性について、皆さんとお話しできればと思います。

12:45~14:15 @3号館402

地方からの視点をどう伝えるか
～ローカルをつなぐメディアの役割～
ますます強まる東京一極集中のマスメディア、視点も中央からの一方的な報道になりがちな問題がある中で、地方新聞など地方を支えるメディアの新たな取り組みを事例に、地方からの視点の重要性を考える。そこには、従来のマスメディアと、市民参加型の新たなメディアの「心地よい」連携がある。ローカルメディアから見た「日本の現場」を検証する。
企画：日本ジャーナリスト会議(JCJ)新聞部会
基調報告：「なぜ今、地方新聞に注目するのか」清水真(昭和女子大学人間社会学部教員)
事例報告：沖縄タイムスなどの連携企画記事
ローカル・ピスカフェの活動(河北新報、北海道新聞)
コーディネーター：日本ジャーナリスト会議新聞部会・鈴木賢津彦

12:45~16:00 @3号館403

アジアの紛争と平和構築
～市民メディアの挑戦～
アジアには、紛争は終結したものの、民族間の和解が課題となっている地域や、現在も紛争継続中の地域がありますが、こうした地域では、紛争解決や平和に向けて市民メディアが活発な活動を繰り返しています。南タイ、東チモール、インドネシアから市民メディア関係者をお招きして、平和構築における市民メディアの取り組みをご紹介しますとともに、日本の市民メディアとの連携の可能性について考えます。

12:45~14:15 @3号館404

市民とメディアが作るメディアのCSR
市民・視聴者の視点からメディア、特に民間テレビ企業に対して、市民、視聴者の知る、伝える、提言する権利を守るメディアを作るための提言書の他、Twitter、USTREAMなどICTを使った提言の可能性を提案します。
主催：鈴木秀和(国際青年環境NGO A SEED JAPANメディアCSRプロジェクト)
司会：プロジェクト担当理事・鈴木秀和
講師：印鐘 智哉(いんやくともや・ICT活動家)

14:30~16:00 @3号館401

電子出版と市民メディア
電子出版をすることによって取次・書店という流通経路を通らずに直接出版することが可能になった。市民メディアとしての電子出版の有効性や制作発行の実際を議論・検証する。
和田昌樹(桜美林大学准教授)ほか。

14:30~16:00 @3号館402

マスメディアとNPOとの協働は可能か?
～「協働e-news」創設と「パブリック・アクセス・センター(仮称)」開設に向けて～
巨大産業化した日本のマスメディアを批判・検証し、NPO・NGO・市民セクターとの協働を促進するため、フランスの非営利組織や米国の調査報道NPOを参考に、市民活動を促進する新しいジャーナリズムの可能性や市民参加型情報発信センターの開設を模索する。

コーディネーター：
世古一穂(NPO研修・情報センター代表理事 協働e-news プロジェクト代表)

出演者：津田 正夫(立命館大特任教授)
金 泰昌(公共哲学共創研究所所長)
池田 佳代(クリエイティブ・コーディネーター)
秋山三枝子(くびせ野NPOサポートセンター 理事長)
土田 修(東京新聞記者、「ルモンド」ディプロマティック)日本版スタッフ)

14:30~16:00 @3号館404

地元のメディアを考える
～コミュニティをつくるメディア・リテラシー～
マスメディアの日刊紙やテレビでの地域情報の減少、また、ネットやケータイによるコミュニケーションの変化がおこっています。一方、市民メディアが多様な形で広がっていますが、地域での認知はマスメディアより低いのが現状です。地域にとって市民メディアの役割や地域におけるマスメディアとの関係などを考え、メディア・メディアリテラシーがコミュニティづくりにつながるかを参加者とともに検討します。
長岡素彦(slowtimes.net)
LLP 地元メディア
代表 市川 勤 鈴木香菜子
ピープルズシアター・リコロコ 山本 大

企画：佐藤 万帆(笹川平和財団)
司会：日比野純一(FMわいわい代表、世界コミュニティラジオ放送連盟(AMRC)日本協議会代表)
海外スピーカー：
(南タイ) シーンポップ・シントピロムシ氏(ディープ・サウス・ウォッチ所長)
ムハマト・アユッパ・ハタン氏(ディープ・サウス・ウォッチ編集長)
ソーラー・ジャムジュリー氏(フランス・オプ・ソングラー大学)
(東チモール) エリコ・ペレイラ氏(ラジオ・ラカンビア代表)
(インドネシア) アデ・タネシア氏(コンバイン・リソース・インスティトゥーション、メディア・マネージャー)

16:15~17:45 @3号館401

市民メディアをめぐる大学の現在
参加者が車座になって自由に議論します。最初は関本が簡単に趣旨説明。
(1) マルチメディア時代を迎えている今、大学では市民メディア、オルタナティブメディアの分野でいかなる教育に取り組んでいるか、
(2) では、その目標・目的は?学生に何を身につけさせようとするのか?もしくは何を考えさせようとするのか、
(3) それを通して、この分野における大学の貢献のありかたを探る。

以上の観点にしたがい、大学の取り組み・事例紹介、学生の活動などの報告を受け、論点整理、自由討論に入る。

関本英太郎(東北大学大学院情報科学研究科)
大学 事例(駒沢大学、東海大学など)

16:15~17:45 @3号館403

ソーシャルソーシャルメディア大集合
アメリカを中心にtwitter/facebook/ブログなど、Webがつながる・Webでつながる「ソーシャルメディア」の利用が増えています。一方でNPO・NGO・寄付様々な社会的な課題にソーシャルメディアの手法を応用していく試みがここきて盛んになってきました。実際の事例をいくつか紹介しながらソーシャルメディアが社会に与えるインパクトを考えていきます。
司会/コーディネーター：
松浦弘智(NPmedia/@03.)
スピーカー：
山田泰久(日本ソーシャルブログ協会/@canpan2009)他

16:15~17:45 @3号館404

市民メディアと地域 SNS
広まりつつある地域 SNSは、市民発のメディアでもあります。市民メディアの運営者等による市民発のメディアについてのディスカッション。
(教員：松本恭幸)

13:00~15:00 @3号館101

「bloom」～生まれたのは私～
母となったばかりの女性のリアルな声を集めたドキュメンタリー映画(60分)。「楽しく子育てできる環境づくり」を目指して三鷹で活動するNPO法人子育てコンビニメンバーが企画から撮影、チラシ・ポスター・パンフレット製作、上映会開催まで、小さな子供を抱えながら一生懸命がんばりました。監督は同じSOHO事務所の園田映人
(学生代表：瀬古春佳)
(教員：加島卓)

15:30~17:30 @3号館101

ブライアント仲間達
パラメント・スクエアSW1
「ビッグ・ベン」の時計台で知られるイギリス・ロンドンの国会議事堂。その向かいの広場にテントを張り、英米政府のテロ撲滅戦争に抗議している男性。イギリス反戦運動のシンボル、ブライアント・ホウと彼のサポーターたちに密着して、約1年半彼らを追い続けた作品です(2009年度日本ジャーナリスト会議黒田清JCJ新人賞)。早川由美子監督(むさしのみたか市民テレビ局員)作品
www.brianandco.co.uk

13:00~14:00 @3号館604

阪神淡路大震災[写真調べ学習]プロジェクト
昨春から、中高生と大学生たちが、阪神淡路大震災当時の記録写真や報道写真についての調べ学習を進めてきました。当時、幼かった世代が、撮影したカメラマンや、関係者インタビュー、現地訪問を通じて、震災で何が起きたのかの一端に触れました。その取材結果をパネル展示と併せて発表します。
横浜緑ヶ丘高校(生徒代表：加藤愛梨)
(教員：川手 徹)

14:00~15:00 @3号館604

メディアプロジェクト
東海大学メディアプロジェクトでは、TV・ラジオ番組の制作や、ブログによる地域メディアへの情報発信、それらの広報活動といった活動を学生が主体で行っています。今回、この活動を知っていただくために、また交流を通じて多様な考え方を学び、様々な関係者との関係を築くために参加させていただきます。
東海大学文学部広報メディア学科
(学生代表：鈴木千通)

15:00~16:00 @3号館604

学生が調べた市民メディアの歴史
日本人が過去半世紀の間、どのようなメディア生活を過ごしてきたのか。1960年から2010年の10年ごとに、その当時の人々のメディア生活をとその変化について、文献や視聴覚資料によりリサーチ、歴史の生き証人であるその時代に様々なメディア生活をした人達へのヒアリング等を通して行った調査研究を展示映像等にまとめて発表する。
武蔵大学社会学部メディア社会学科メディア社会学実習(学生代表：ロンゴ・ルチヨ)
(教員：松本恭幸)

16:00~17:00 @3号館604

南会津おらが芸品館プロジェクト
武蔵野美術大学芸術文化学科では、芸術を通じた社会連携活動を複数展開しております。今回は「美術大学と地域社会」と題したセッションを組み、吉祥寺など街と文化に関する報告、中高生と美術の関係についての報告、そして「南会津おらが芸品館」での取り組みについての紹介を行う予定です。
武蔵野美術大学アーツプロジェクト
(学生代表：瀬古春佳)
(教員：加島卓)

17:00~17:50 @3号館604

成蹊大学
「メディアリテラシー実習作品紹介」
成蹊大学では2005年度から、武蔵野・三鷹地域で活躍するNPO法人むさしのみたか市民テレビ局・NPO法人 KISS・株式会社エフエムむさしのの協力を得て、メディアリテラシー実習という授業を開講しています。今回は実習の概要とともに、むさしのみたか市民テレビ局の協力の下におこなわれる映像制作実習でこれまで学生たちが作ってきた作品をご紹介します。
(教員：見城武秀)

4日 13:00 ~ 17:45 @3号館605

報道被害小屋
報道被害って? あなたも疑似体験してみませんか?

★ 2日間・常時開催

3日 13:00~18:00 @601
4日 10:00~14:30 @601

第5回局員養成講座
NPO法人むさしのみたか市民テレビ局が定期的に行ってきた局員養成講座。テレビ番組制作を体験していただき、私たちの活動への理解を深め、仲間になって欲しいという思いで開催します。今回は参観できます。

常時開催 3日・4日 @3号館503/504

情報交流広場
多くの参加団体の活動報告、書籍の展示販売コーナー

slowtimes.net/シネミンガ/ミタカッチTV局/第2回東京国際科学フェスティバル実行委員会/調布市民放送局/むさしのFM市民の会/みんなのブックカフェ/NPO子どもプロジェクト/「ネビュラ」メル・プラッツ/神奈川県立相模原青陵高校/子育てコンビニ/NPO研修・情報センター/大月書店/OurPlanet-TV/あおもりラジオくらぶ/A Seed Japan/JCJ新聞部会/ビデオアクト/武蔵野市観光推進機構/NPO法人みたか都市観光協会/パルシステム/セカンドリーグ/週刊きちじょうじ/武蔵野市関連書籍/三鷹市関連書籍/(株)まちづくり三鷹関連書籍/多摩いふ倶楽部/フェミン/ビデオ工房AKAME

常時開催 4日・5日 @3号館101

上映交流
全国で活躍している市民テレビや映像制作者が、互いの作品を見つつ、制作に関するあれこれを現場の立場で語り合おうという会です。2006年の横浜から始まりました。

4日 11:00-12:00 OurPlanet-TV(千代田区)

5日 10:30-11:00 NPO法人 碧海・西尾稲豆市民放送局チャンネル Daichi(愛知県刈谷市)

11:00-11:55 いこま市民放送局/NPO法人うぶすな企画(近鉄ケーブルネットワーク株式会社・奈良県生駒市)

12:05-12:45 映像発信でれれ(大阪市)

12:45-13:00 青葉区民メディアリポーターチーム(横浜市)

13:00-13:20 NPO法人むさしのみたか市民テレビ局(武蔵野市・三鷹市)

13:20-13:30 陣野秀明(映像作家・小平市)

13:35-14:00 くびせ野みんなのテレビ局(新潟県上越市)

常時開催 3号館502/506

メディアフェス・メディア
メディアフェス会期中、ネットによるテレビ・ラジオの実況放送とガリ版による新聞を発行します。先の開催地の経験者をリード役にボランティア学生が取り組み実践と交流の場です。取材ご協力をお願いいたします。

4日 13:00 ~ 17:45 @3号館605 5日 10:00 ~ 17:00 @3号館605

「武蔵野三鷹メディアフェス2010」会場で事件発生!!その時あなたは?犯人は誰だ!劇団がらんど

★ 9月5日(日)

10:00~12:00 @4号館101

シンポジウム②
市民メディアの過去、現在、未来
司会：岩本太郎(フリーライター)
パネリスト：小川明子(愛知淑徳大学准教授)
白石 草(OurPlanet-TV)
松原 明(ビデオプレス/レイバーネット)
津田大介(メディアジャーナリスト)

「十年一昔」という言葉の通り、21世紀初頭の10年間で激変したメディア環境。ブログ、YouTube、Twitter……次々に登場した新たなツールによって、「誰でも発信できる社会」はいつの間にか当然のものとなった。そうした中で「市民メディア」ははたして何をやってきたのか?現状はどのようなか?そしてこれからどこへいくのか???——これまで「市民メディア」の世界で活躍してきた論客たちに加え、ツイッター論で注目の津田大介さんも加わり徹底討論!!

13:00~14:45 @4号館101

シンポジウム③
むさしのFM開局15周年記念 防災シンポジウム
～多摩の防災 コミュニティFM・多摩4局の担うもの～
基調講演「ヘルメットを被って放送を続けた」
扇屋雄介氏
(新潟県のFMながおか 放送局長 2004年新潟県中越地震で災害放送に奔走)

パネルディスカッション
司会：酒井陽子(武蔵野市民協働サロン コーディネーター)

パネリスト：久保田浩友(むさしのFM)
袴田荘之介(調布FM)
有賀 達郎(FM西東京)
梶 範明(FMたちかわ)
扇屋 雄介(FMながおか)

阪神淡路大震災(1995年1月17日)において、活動が脚光を浴びたコミュニティ FM。その後1995年3月、東京都初めてのコミュニティ FM「むさしのFM」が開局。開局から15年を迎え今回、調布・西東京・立川の各コミュニティ FMとともに、「防災」をメインテーマに、コミュニティ FMの地域への役割をディスカッションする。

13:00~15:00 @3号館101

著作権ミニトーク
番組と著作権・制作の際のポイントとは?
大事だといわれるけれど、本を読んでも法律を見てよく分からない著作権。番組制作でも「映り込んだ通行人にも権利はあるの?」「CATVの番組をネットで流しても問題ない?」「音楽の権利処理って何?」など、多くの疑問に直面します。放送番組の権利構造を解説し、現実の問題への対応も紹介します。
砂川浩慶(立教大学社会学部メディア社会学科准教授)

13:00~15:00 @3号館604

みんなでつくる...
ネット版「映像制作マニュアル」
～あなたの「成功例」「失敗例」が市民メディア普及に一役!～
黒岩亜純(TBS報道局)

10:00~13:00 @3号館604

学生展示
学生分科会参加グループの展示

12:30~12:50 @中庭

みんなのブックカフェ
世界一大きな布絵本
「キュウの青空キャンパス」
平成18年3月、三鷹の市民ボランティアと沢山の子ども達の手によって作られた タテ2.7m ヨコ4mの巨大布絵本。子ども達が三鷹を愛し、この地で健やかに育つことへの願いがこめられています。むさしのみたか市民テレビ局のメンバーと一緒にお届けします。
みんなのブックカフェ：竹上恭子

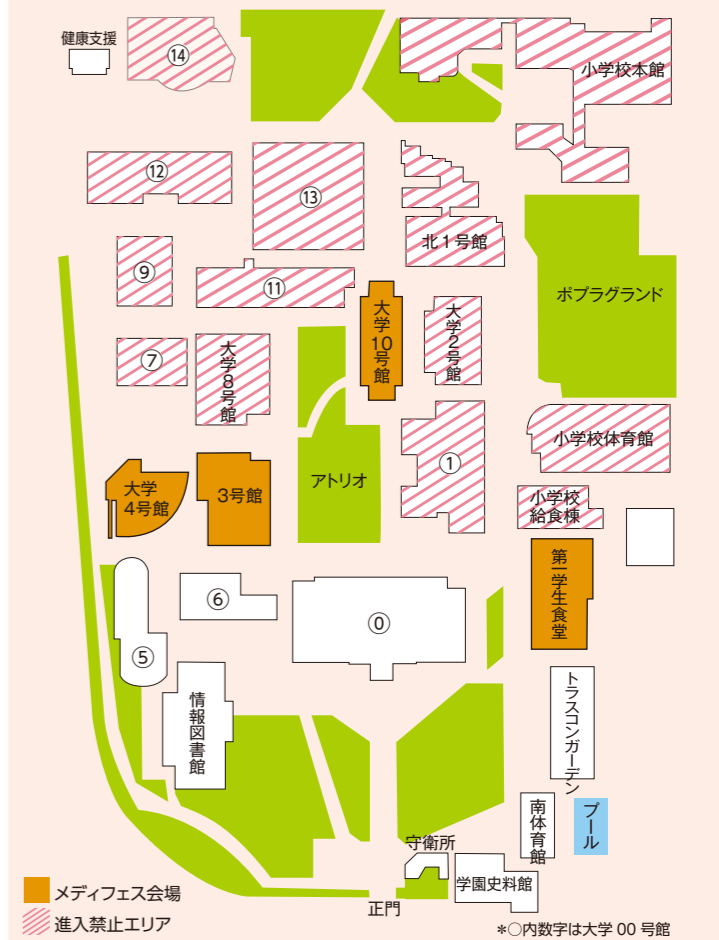
13:00~14:30 @3号館403

第5回市民メディア全国交流協議会総会
メディアフェス開催の母体として協議会の今後を検討します。会員はどなたも参加できます。

15:00~18:00 @4号館

全体会・閉会式
全体会 15:00 ~ 17:45
コーディネーター：下村健一
シンポジウムや分科会、各催事の報告を紹介。「武蔵野・三鷹メディアフェス2010」を参加者とともに語り合い、今後の指針を探る。
閉会式 17:45 ~ 18:00

成蹊大学構内MAP



お願いとお知らせ

★メディアフェス会場では(記録)および(インターネット・同時放送)のための撮影を行っています。撮影班は「報道」のマークを付けています。撮影を希望されない方は総合受付にてリボンをお受け取りの上、「報道」にわかるようお付けください。リボン着用の方は撮影しないように配慮いたしますが、記録用撮影は後日編集にて削除が可能です。インターネット同時放送の場合は万全ではありませんので、ご了承ください。

★構内での飲食は第一学生食堂でお願いいたします。教室内での食事は禁止されています。飲み物はOKですが、自分のごみは全てお持ち帰りいただくよう協力をお願いいたします。

★喫煙は喫煙エリアでお願いいたします。
★メディアフェス開催期間中、他の団体も大学を使用しています。構内MAPにあります、赤色エリアには入らないようお願い致します。

協賛金協力者

アツデン(株)(代表取締役社長 佐藤 文典)
(株)文伸(代表取締役 川井 信良)
小林 真知
酒井薬品(株)(代表取締役社長 酒井 裕光)
(株)新宿スタジオ
成蹊大学 文学部
SOHO CITY みたかフォーラム(理事長 河瀬 謙一)
特定非営利活動法人 みたか都市観光協会(理事長 金子 彰)
(株)ハウジング・エス(代表取締役 坂本 恭一)
西海 真理
松島 汎子
三鷹商工会(会長 佐藤 文典)
三鷹富士学院(戸所 保志)
武蔵野労務行政事務所(代表 猶木 貴彦)
(株)植田製作所(代表取締役 植田 栄一)
兼子 剛
岡田 浩
白築 賢二
カフェ ハイファミリア
佐藤 真弓
多田 典代
多田 瑞代
ノーフル無縁(株)(総務部 川上 泰成)
劇団がらんど
(株)まちづくり三鷹